

オキアミ調査速報

2月9日に県漁業調査指導船「開洋」によるオキアミ魚探調査及び水温調査を実施しました。概要は以下のとおりです。

今回の調査でオキアミらしき高周波に強く出る反応は見られず、マイワシと思われる反応がありました(図1)。オキアミは親潮の南下に伴い、まとまった群が形成され、漁場となります。現在、100m水深5℃を指標とする親潮第1分枝の先端は岩手県宮古沖30海里にあり、昨年よりも接岸していますが、今回の調査海域は親潮が波及しておらず、表層から底層が9℃台の水温となっているため(表1)、オキアミは分散しているか、今回の調査海域よりも深い水深に分布していると考えられます。

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。次回の調査は、2月19日に予定しています。

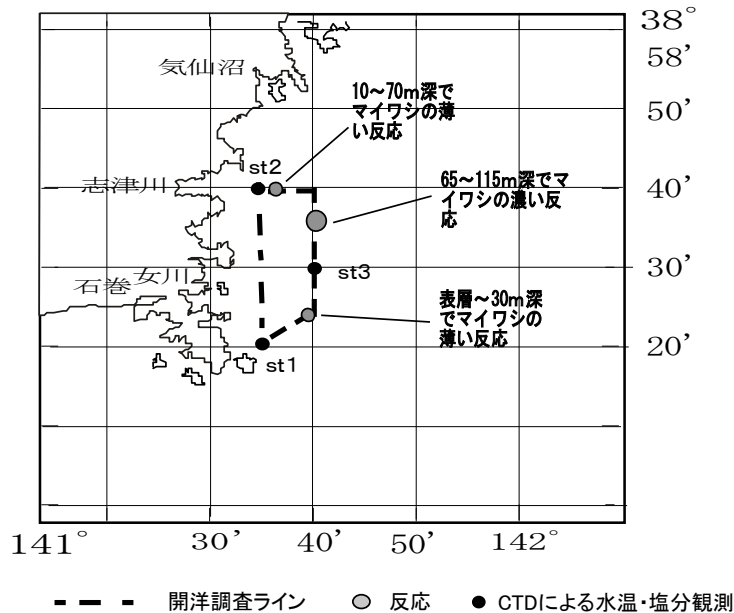


図1 オキアミ調査ライン

表1 水温観測結果

CTD観測点	St.1	St.2	St.3	
月日	2月9日	2月9日	2月9日	
北緯	38° 20'	38° 30'	38° 40'	
東経	141° 35'	141° 35'	141° 35'	
水深(m)	85	96	62	
水温(°C)	0m	9.10	9.00	8.50
	10m	9.28	9.13	9.63
	20m	9.28	9.13	9.62
	30m	9.25	9.11	9.61
	40m	9.23	9.10	9.61
	50m	9.14	9.10	9.61
	75m	8.84		9.61
	100m			9.59
	125m			9.59
	150m			
	175m			
	8.80(83m)	9.11(60m)	9.58(138m)	